

もくじ

1. アリとキリギリス 2
2. 塩をはこぶロバ18
3. ハエとライオン30
4. いずみのシカ42
5. 北風と太陽54
6. 王様の耳はロバの耳66
7. 肉をくわえた犬84
8. キツネとヤギ96
9. 鳥とけものとコウモリ 112

アリとキリギリス

原作： イソップ寓話

イラスト： ゆきお

編集： YellowBirdProject

3

さわやかな風が吹く、ある春の日の午後。

働き者のアリたちは、一列に並んで、食べものを運んでいました。

そんなアリたちの様子を、キリギリスは、葉っぱの上で寝転んでながめていました。

「こんなにいい天気だってのに、アリたちは働いてばかり。少しは休んだらいいのにさ」



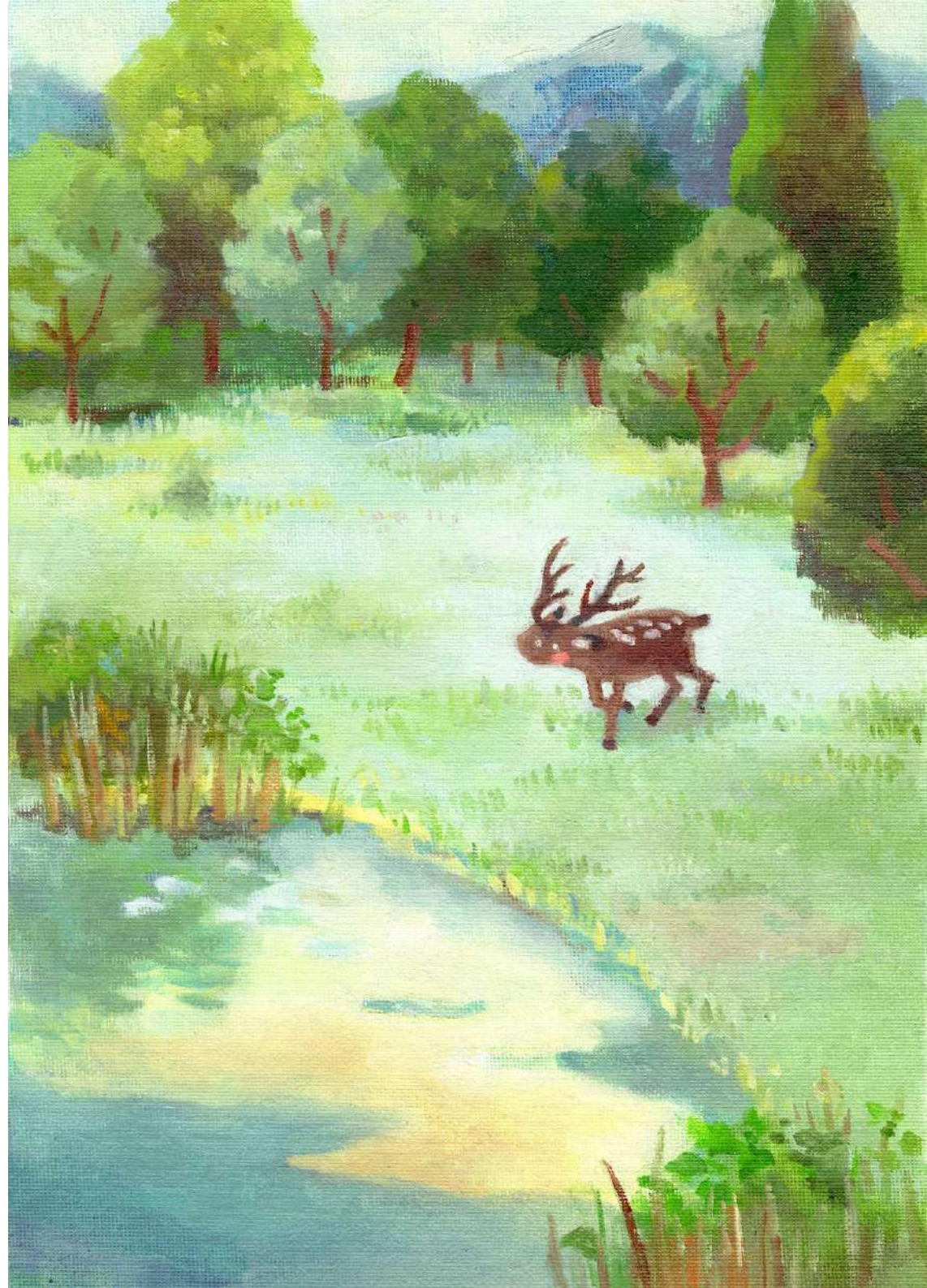
43

^{ひ もり す} ある日、森に住んでいるシカが、^{ひろ そうげん} 広い草原にある
^{いずみ} 泉にやってきました。

^{なが あいだある つづ} シカは長い間歩き続けていたので、のどが
カラカラでした。

^つ 「ああ、やっと着いた。^{はや みず の} 早く水を飲もう」

^{いずみ かお ちか} シカが泉に顔を近づけると、^{すいめん じぶん かお} 水面に自分の顔が
^{うつ} 映りました。



ずっとむかし、フリギアという国^{くに}でのお話^{はな}しです。

この国^{くに}は、ミダス王^{おう}という王様^{おうさま}が治^{おさ}めていました。

そしてこの国^{くに}には、素晴らしい音楽^{おんがく}の神様^{かみさま}が二人^{ふたり}いました。

たて琴^{ごと}の神^{かみ}『アポロン』と、アシ笛^{ふえ}の神^{かみ}『バーン』です。

二人^{ふたり}はいつも、自分の奏^{じぶん}でる音楽^{かな}が一番^{おんがく}だと、お互い^{いちばん}にいがみ合^あっていました。

そこで二人^{ふたり}は、どちら^{おんがく}の音楽^{かな}がより素晴らしいか、ミダス王^{おう}に決^きめてもらうことにしました。

